

## 第28回 安全管理の最新動向

### ※※ プログラム ※※

4月22日(火)	
13:30~15:00	<p>「化学産業のリスクベース安全とその方策」</p> <p>有限会社システム安全研究所 所長 高木 伸夫 氏</p> <p>プロセスプラントの安全確保にあたり我が国では絶対安全の考えが長く続いてきたが、欧米においてはリスクベース安全の考えのもと各種の論理的手法が開発され、運用されてきた。ここでは、欧米における重大事故とリスクベースに基づいた安全確保にあたっての歴史を概観するとともに、危険源特定にあたり広く活用されている HAZOP ならびにリスク低減にあたっての LOPA についても紹介し、また、大規模システムの安全についても考えることとする。</p>
15:15~16:45	<p>「航空会社における安全管理の最新動向」</p> <p>全日本空輸株式会社 総合安全推進室 室長 田中 龍郎 氏</p> <p>航空会社においては2006年度より「安全管理システム(SMS)」を導入し、事故の未然防止活動を行ってきた。今般2014年度より国としての安全推進活動を定めた「航空安全プログラム(SSP)」が導入され、レギュレーター(国)とサービスプロバイダー(航空会社や航空交通管制機関等)が一体となって安全な航空輸送を提供する体制を整備することとなった。このような航空界の安全管理の最新動向を紹介すると共に、お客様に「安全」のみならず「安心」を提供する取組についても考える。</p>
17:00~18:00	親 睦 会
4月23日(水)	
9:15~10:45	<p>「鉄道の安全とヒューマンファクター」</p> <p>JR東日本研究開発センター 楠神 健 氏</p> <p>鉄道の安全性向上に向けたヒューマンファクター面の取り組みについて紹介する。具体的には、他現場の発生事象を自職場の教訓として落とし込むための他山の石分析支援ツール、現場の安全活動に役立つ情報の社内共有化を目指す『安全のポータルサイト』、東日本大震災の避難誘導において重要とされた臨機応変な対応能力を高めるための『異常時イメージトレーニング法』などについて紹介する。</p>
11:00~12:30	<p>「化学プラントの事故から学ぶ安全管理のポイント」</p> <p>東京工業大学 中村 昌允 氏</p> <p>化学プラントにおける爆発火災事故は、社会に与える影響が極めて大きい。最近の化学プラントの事故及び原発事故の教訓をもとに、これからの安全管理のポイントを考えたい。</p> <p>安全管理目標の考え方：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) リスクの大きさは、労働災害に加えて、社会的影響を加味する</li> <li>(2) 重大事故を防止するリスクベースの考え方が必要</li> <li>(3) リスクの受け入れ可否は、ALARPの原則に基づく</li> <li>(4) 地域に影響を及ぼす事故は、発生確率が低くとも起こさないといけない。</li> <li>(5) プラント内の危険物量を少なくする本質安全設計が求められる。</li> </ol>
12:30~13:30	休 憩
13:30~15:00	<p>「事故防止のための安全文化の創造と実践」</p> <p>慶應義塾大学 高野 研一 氏</p> <p>近年、事故防止を確実に進めるには、個人・職場・組織のすべてのステージで安全に対する価値共有を土台とした安全文化の醸成が必要とされている。ここでは、安全文化の概念の整理と位置づけ、特に、積極関与(コミットメント)、動機付け(モチベーション)、相互理解(コミュニケーション)、危険認識(アウェアネス)について解説し、それらを実践するための具体的方策について述べる。</p>
15:15~16:45	<p>「建設現場の安全管理への取組に関する活動事例」</p> <p>鹿島建設株式会社 須藤 英明 氏</p> <p>建設業は国土整備の根幹を担う産業分野の一つである。戦後の復興期から高度経済成長期にかけて建設された構造物の多く、すなわちダム・トンネル・発電所・上下水道施設・新幹線や高速道路網・高層ビル等は、今日の社会の発展と利便性向上に大きく貢献してきたことに疑いの余地はない。そして近年、こうした大型構造物の維持補修や延命化の必要性も高まり、地球の自然にも優しい円熟した社会資本施設の整備が、少子高齢化とも相俟ってますます大切な時代を迎えている。しかし、このような情勢の下で、建設業を取り巻く環境、とりわけ「仕事の安全」には、他産業に比べて多くのリスクが顕在的あるいは潜在的に存在している。そこで、ここでは、こうした建設仕事における安全上のリスクを少しでも回避するための現場における安全管理実務の工夫や努力について、いくつかの取組事例を紹介したい</p>